

# 役場新庁舎 基本設計案をご紹介します!

村では令和8年度の新庁舎完成を目指し、4月に新庁舎整備に係る基本・実施設計業務を委託しました。現在進めている基本設計では、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザインをまとめていきます。

大蔵小・中学校ワークショップや住民説明会、職員ヒアリングで出された意見や要望を受けて作成した基本設計の案について、ご紹介します。

## 新庁舎の基本コンセプト

- 村民に親しまれる庁舎
- 経済的でスリムな庁舎
- 環境にやさしい景観と調和した庁舎
- 防災の拠点となる安全・安心な庁舎
- 職員が働きやすい庁舎

- 駐車台数 124台  
(来庁者と職員分)



- シンプルでコンパクトな建物形状
- 高い耐震性の確保
- 明快な配置・平面ゾーニング
- ほたる火まつり、幻想雪回廊の情景をモチーフ



## 建築概要

- 延べ床面積：3707㎡  
庁舎部分：2449㎡、公民館部分：1258㎡
- 階数：3階建て
- 構造：鉄筋コンクリート造（6m×6mスパン）

## スケジュール

- 基本設計：令和6年8月完了
- 実施設計：令和7年2月完了
- 建設工事：令和7年7月～令和8年11月
- 開庁：令和9年1月

## ブックカフェイメージ図

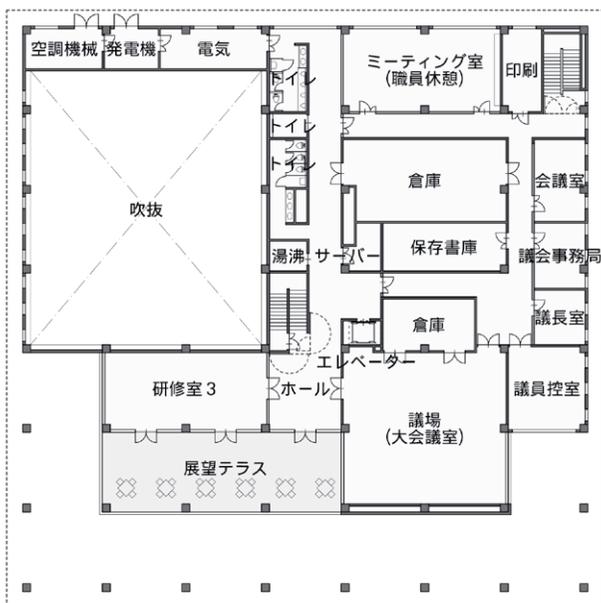
- みんなのサードプレイス・共創の場
- エントランスホールにギャラリーを備えたブックカフェを併設

## パブリック コメント募集

村民の皆さんがより使いやすい新庁舎の建築に向けて、基本設計の参考とさせていただきますためご意見を募集します。

- 募集期間：7/5(金)～7/22(月) ※必着
- 送付方法：意見提出様式(村ホームページからダウンロード又は総務課新庁舎建設室で配布)をメール、FAX、郵送で送付してください。

☎総務課新庁舎建設室 ☎75-2111 (内線211)



## 3階

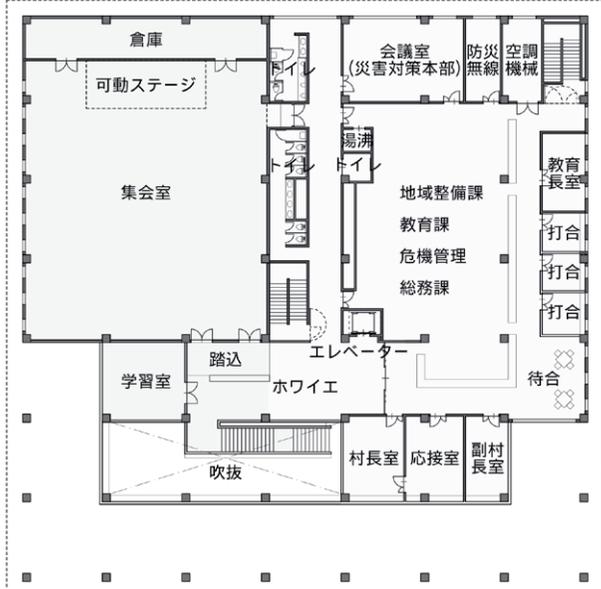
### 議場は非常設型で多目的に利用

主に議会関連の部屋を配置します。議場はフラットな床とし、閉会中は村民に開放可能で講演や会議等に利用することができます。

展望テラスは、街並みを眺める屋外空間となり、災害時には避難テラスとなります。

研修室3の部屋を利用し、十分な広さでプライバシーに配慮しながら確定申告相談を行います。

ミーティング室は、主に職員の昼食休憩スペースとします。



## 2階

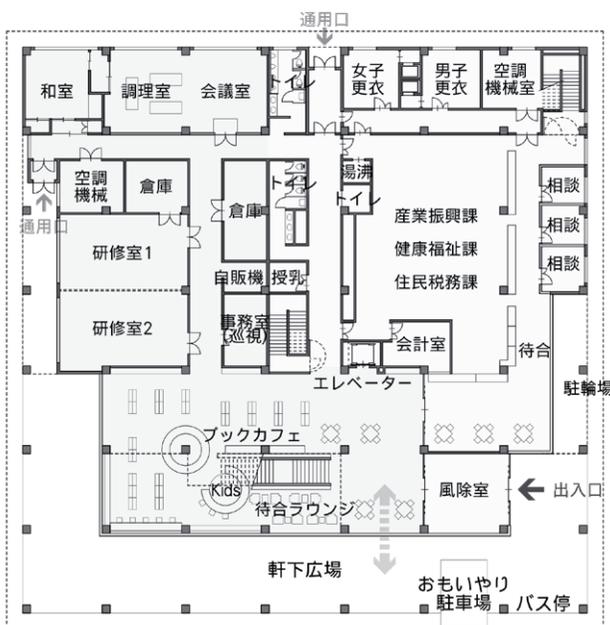
### 集会室は2階吹き抜けでイベント&軽スポーツに活用

集会室(体育館)はバドミントンコート2面分の広さを確保し、2階吹き抜けの天井高さで、軽スポーツが楽しめます。入口に下足を履き替えるスペースを備えます。

学習室は、ブックカフェの空間と繋がりながらも静かな空間とします。

村長室等を配置し、災害発生時には迅速な対応が可能になるよう、災害対策本部室になる会議室を配置します。

プライバシーに配慮した個室の打合せ室を配置します。



## 1階

### ブックカフェが目目をひくフロア

玄関をくぐると右手に役場そして正面は図書室と待合ラウンジ、イベント可能なフリースペースを併せ持つブックカフェとなっています。イベントは、広々とした軒下広場とブックカフェを連続させた開催を可能にしています。

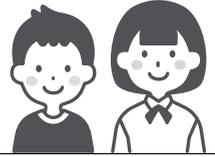
エレベーターは定員13人程度とし、上階への移動を容易なものとします。

役場側には相談用の個室を用意し、プライバシーにも配慮しています。

## 新庁舎



# ブックカフェの設置について 子どもたちの反応は？



ブックカフェを設置するにあたって、一番利用する機会が多くなると思われる村の子どもたち。5/31(金)に大蔵中学校にて、6/13(木)には大蔵小学校でワークショップを行いました。その際にアンケートを実施し、以下のような回答をいただきましたのでご紹介します。

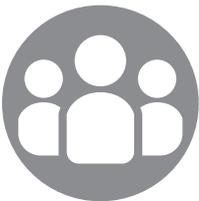
### 大蔵小学校 (5・6年生対象)

- Wi-Fiがほしい
- 飲食ができるスペースがあれば便利。
- 勉強するスペース、宿題をするスペースがほしい！
- 楽しくおしゃべりがしたい。
- ゆっくりくつろげる場所、ゆったりできる空間がほしい。
- 本のリクエストを受け付けてほしい。
- 誰でも遊べる空間をつくってほしい。
- 小さい子向けの椅子は落ちないような工夫してほしい。

### 大蔵中学校 (1～3年生対象)

- Wi-Fiを設置してほしい
- 食べ物やお菓子の持ち込みを可能に。
- 本だけではなく、かるたやオセロ、UNO、ボードゲームなどを使わせてほしい。
- みんなでおしゃべりをしていい場所と、静かにする場所を分けたほうがいいと思う。
- 小学生がつくったポップを置く。村民が自由に本の紹介カードを書いて掲示できるようにすると思う。
- 新刊や話題の本を決まった場所に置き、月に一度更新してほしい。

子どもたちは新庁舎のイメージ図や動画、模型を見ると目を輝かせながら期待に胸膨らませ、自由な発想で新庁舎の使い方のアイデアをたくさん出してくださいました。また、村民の皆さんからの意見も、ブックカフェに限らず庁舎全体に関して募集しています。右記QRコードからアンケートフォームにアクセスすることができます。ぜひご意見をお聞かせください！新庁舎のイメージ動画もご覧いただけます。



## 「わたしたちが担当します！」 株式会社 本間利雄設計事務所



新庁舎の設計に携われます事、大変光栄に存じます。村内外の人々が集い交わる地域のシンボルとして、村のみんなが誇れる未来志向の庁舎を実現してまいります。

本間利雄設計事務所 代表 本間 弘



新役場庁舎の基本・実施設計を株式会社本間利雄設計事務所(以下本間設計事務所)へ、契約金額1億2,980万円で委託しています。

本間設計事務所では、これまで小国町役場や東北芸術工科大学校舎、山形美術館、山形市総合スポーツセンター、最近では山形県総合文化芸術館や東北農林専門職大学校舎などを手掛けてきました。「東北・山形の自然や景観に相応しい風土性溢れる建築づくり」を理念に、クライアントや利用する地域の人々とのコミュニケーションを大切にしながら、地域に根ざした建築を創造しています。

意欲溢れる若いスタッフを中心とした設計チームが担当します▶

